

令和7年度 第2回 浜松市立伊目小学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和7年6月17日(火) 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 伊目小学校 多目的教室
- 3 出席委員 影山純市、小林隆志、白柳雅臣、影山陽一、
久保直人、長谷川郁展、袴田雄大
- 4 欠席委員 加茂俊武、白柳和義、坂本 進
- 5 オブザーバー なし
- 6 学校支援コーディネーター 太田かおり
- 7 学 校 吉川麻利子(校長)、伊藤省吾(教頭)、鈴木明良(CS ディレクター)
- 8 教育委員会 なし
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CS ディレクター 鈴木明良
- 11 議長の選出及び前回会議録確認
前回議事録について、伊藤教頭から手元資料により説明があり、全員これを確認し、承認した。
- 12 浜松市学校運営協議会目標の確認
伊藤教頭より説明があり、全員これを承認した。
- 13 協議事項
 - (1) 授業について
 - (2) これからのPTA 活動について・情報モラルについて
 - (3) (2)について意見交換・発表
- 14 会議記録
伊藤教頭から委員総数10名のうちの7名の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。また議長については、影山会長より久保直人委員に一任する発言があり、全員これを承認した。
 - (1) 授業について
体育館での授業が暑いという意見に対し、伊藤教頭から今後スポットクーラーが2台設置予定という説明があった。また、小林委員から暗幕を使用することで、温度が下げられるのではないかという意見をいただき、今後取り入れていくと伊藤教頭が答えた。
 - (2) 伊目小PTAのこれからについて
現在PTAの役員選考は、会長1名、副会長1名、学年役員6名を選出しているが、今後複式教室が増えることや児童数減少に伴い、役員選考をどう実施していけばよいか。
 - ・複式学級は、学年1名とする。
 - ・地域のボランティアを募る。

現在 PTA 役員の方にご協力いただいている行事（生き生き学校、運動会、持久走記録会、資源回収）の運営をどうしていけばよいか。

- ・地域のボランティアの協力
 - ・資源回収について、コンテナの場所を設置し、都合のよい時間に持つていく。
- また、回数を減らす。

(3) 情報モラルを育てるための手立て

保護者・児童生徒に情報モラルを育てていくために、学校に何かできることはないか。

- ・PTA 総会で、情報モラルについての講習会を開催（オンラインでも）する。
- ・3・4 年生向けに情報モラルの講習会を開催。

15 その他報告事項等

生き生き学校（遠泳・縦割り班活動）について

伊藤教頭から生き生き学校の進捗状況・緊急対応について、別紙資料に基づいた説明があった。

伊藤教頭から、次回会議は令和7年10月8日（水）13時30分～15時30分に会議室で開催する旨報告があった。